

東北日日新聞

本報創刊二十二年
社址：仙台市青葉区
電話：二二二二
印刷所：仙台市青葉区
電話：二二二二

社説

最近半町に闘犬熱が昂つて来てゐるが、闘鶏がいろいろの意味に於てのトバク以外の悪趣味であることは、何人も肯定するであらう。

トバクの元兇が處罰されてから此の悪趣味の傾向が影を没してゐるので警察當局も、根本的に消滅するであらうとみてゐる。矢先、更に悪趣味の闘犬熱が有階級から端を發して、近代人の趣向に投じてゐる爲めに、一般地方人士へ浸透しやうとしてゐる。

道にしばしば犬の闘いを催してゐることを目撃するが、この悪傾向が一般的にならうとしてゐることは、平町としてのみならず人間としてより悲しむべきことである。犬がその力を人間に認められてから種々なる方面に活用されて來てゐる雪國では犬をしが、荷物人間の唯一の運輸機關であり、他の方面では莊園の番犬となり軍隊の偵察用となり、警察の探偵用となり、愛兒の子守番人となり、愛玩用となり、獵場では伴侶となるなど實に正直な動物として純情な動物としても人間

に親しみの深いものである。然るに、有階級が凡てのしゆ味に満悦される結果として、闘牛、闘犬、闘鶏などの血なまぐさい活劇に強烈な感情を満足させやうとする、その悪潮流はローマ没落の時代から近代へまで、ゴッソリと忍び流れて來てゐる殊に、強烈な刺激に酔はうとするのは、人間の原始時代の獵人的生活に起因してゐるであらうが、血から血へと傳統されてゐることも肯定してゐるが、近代文明の殿堂に跳躍し、教養を有して智

識的に洗練されてゐる闘係上、獵人の血が薄められてゐるであらう。然し、ともすれば人間の血が逆流する。

そんな考察の中で、闘犬といふしゆ味を批判して實に救はうといふ惡しゆ味ではあるまいか。

飼犬が赦されるのみで闘犬が近代文明を飾るものでもなければ、人間の向上にも何等資する所がないであらう。

吾人は平町が健全なる途上を正しく踏んで、大地の上に大平市の殿堂を築かんことを希ふものであらう。

石城地方の産米が收穫後の變調的な氣候の關係上乾燥不充分のためこれが誘因となつた結果腐敗米となつて市場に現はれるに至つた事は既報の如くであるが最近この腐敗米の處分がたいては各方面から頻々と平米殺検査所に問合せが來るの

變質米は結局 鶏の飼にもならぬ

處分方を持ち込まれて 安島米検査所長は語る

石城地方の産米が收穫後の變調的な氣候の關係上乾燥不充分のためこれが誘因となつた結果腐敗米となつて市場に現はれるに至つた事は既報の如くであるが最近この腐敗米の處分がたいては各方面から頻々と平米殺検査所に問合せが來るの

武田検事 現場検証

内郷妹殺し事件 内郷村大字宮飲食店佐藤ひ

事件は平署の取調べにより現場調査のたつた一日午後充分殺意を認めらるゝに至り後より臨検考人その他關係平検事局より武田検事出係者の取調べをなした張一應犯人虎男を取調べた

本社の人氣投票 愈々締切り近づく

あこ餘すところ四日間 二十六佳選の榮冠は誰れ

本社一週年記念人氣投票の爲めは人氣投票締切り石城郡三十六佳選はその後が來る十六日最終便として各方面の好評を博し編輯局も僅かに餘すところ四日と係員は山と積まれる投票のなつたので一段の活氣を整理に忙殺されてゐるが後し本日正午以降などは手から後からと殺倒するやうつけやうもない有様で係員な投票には殆んど面くらつて呆然としてゐる

双葉軌道敷設 工事再延期申請

資金の支出者を得て 近日中に縣で可否を決定

双葉軌道はさきに敷設特許を受けたが資金不足のため一部分の工事を行つて目下中止の状態だが同社では今回工事施行費六萬圓の新出資者を得たので工事竣工期限を本年十二月末日まで延長を再度申請して來たので縣では慎重調査したところかねて地元川内木戸兩村長上申の通り起業の確實性を認められぬので十一日代表者を招致しこれが確めるところあつたが近日中に三(四四)は十一日午前十一時ころおひ武雄(二六)を銃の實鮮魚商萬三方に世話利なる出及はう丁を揮つて左胸部より骨膜に達する頻兇行の當日午前九時ころ小死の重傷を負はせた急報に使をもらひ果してしまひ日

身持の悪い伯父 出及で甥を刺す

厄介者扱ひをふん慨して 被害者は死の重傷

石城郡江名町大字中ノ作字より平署から係官急行一三榎木下十一番地漁夫坂部一を取押へたが被害者一三は三(四四)は十一日午前十一時ころおひ武雄(二六)を銃の實鮮魚商萬三方に世話利なる出及はう丁を揮つて左胸部より骨膜に達する頻兇行の當日午前九時ころ小死の重傷を負はせた急報に使をもらひ果してしまひ日

赤十字へ寄附

石城郡上小川草野寅伊鈴木

石城郡上小川草野寅伊鈴木義三(四四)と駈落ちしたので心當り搜索中の處福島市内の木賃宿に宿泊してゐるらしいと云ふので十一日福島署に搜索取押へ方を願ひ出した

駈け落ち

福島市に潜伏か石城郡内郷村字白水義雄妻青木イシ(二八)は十日同村字廣畑あん摩業目後藤徳義(三四)と駈落ちしたので心當り搜索中の處福島市内の木賃宿に宿泊してゐるらしいと云ふので十一日福島署に搜索取押へ方を願ひ出した

人妻の家出

福島署に搜索願石城郡平窪村字平窪生れ岩鶴岡廣隆内縁の妻四倉町生れ新妻い(三七)は去る四日無断家出行方をくらましたが最近福島市の料理店に女中奉公してゐるらしいと

母キヤ儀去る九日來感冒の爲療養中の處昨十一日午後四時五分突然心臓痙攣を併發し死去致候間此段御通知に代へ謹告仕候

追而送葬の儀は十四日午後二時自宅出棺神谷村弘源寺に於て佛式相營む可候昭和五年四月十二日 岡田千藏 外親 戚一同

人氣投票券

選 佳 六 十 三

喫茶の店

喫茶の店
パーククラ
洋菓子店
平藤遠
電話七四六番

創刊一週年記念

人氣投票

本日正午まで到着の分

篤志家 五七五票 田久弥七 三八五 安島重三郎 三三〇 山崎與三郎 一五〇 佐藤三平 九〇 江尻博孝 七〇 小林成次	宗教家 六八五 菩提院 桐原英純 二六五 性源寺 安戸正勝 二三〇 九品寺 遠藤心光 九五 欣淨寺 加藤隆瑞 七〇 普門寺 清水澄香 五〇 大寶寺 小林智興 四五 良善寺 柳田悦巖 中村月城	料理店 一七三七 釜屋商店 九二八 大谷時計店 五二〇 マルカ書房 五〇〇 和久井屋 二四〇 大塚運動具店 二二五 三井呉服店 二〇〇 ツルヤ 一三九 山城屋 一四〇 丸ほん 一一一 山野邊藥局 一六六 ホンチエヌストア 九〇 中野呉服店 九〇 大黒屋商店 一四 郡司米店	商店 一七三七 釜屋商店 九二八 大谷時計店 五二〇 マルカ書房 五〇〇 和久井屋 二四〇 大塚運動具店 二二五 三井呉服店 二〇〇 ツルヤ 一三九 山城屋 一四〇 丸ほん 一一一 山野邊藥局 一六六 ホンチエヌストア 九〇 中野呉服店 九〇 大黒屋商店 一四 郡司米店	運動家 七二八 卓球 山田勇太郎 三二〇 乗馬 加藤丈夫 二〇〇 陸上 花澤輝一 一五二 庭球 奥津昌 八四 庭球 大坪光夫 七五 野球 織田安次郎 一三 陸上 高根澤秀雄 三 後藤晃雄	藝術家 六二四 童話 川崎小鳥 六六一 琵琶 酒井輝香 二四五 尺八 谷口鹿童 一七〇 琴 新妻佐喜柱 一七〇 彫刻 本田朝忠 一六四 辯士 石井孝 一二四 童話 詩島田忠夫
--	---	--	---	---	--

教育家

六七〇 清野キヨ 三六〇 酒井ミヨ 一四六 鷹崎チヨ 一四五 藤田榮助 一三五 大和田豊吉 二二 會我直治 赤津千里	請負師 八五九 佐々木健一郎 六〇六 猪狩菊三郎 一九二 丸山喜一郎 一四三 荒川銀治 一三三 前澤文太郎 一八三 田中宜治 一〇三 筒井条治 七九 中山吉之助 七八 只野忠康 五五 渡邊長作 二五 赤塚兼助	醸造家 三八五 三國一 渡邊貞三 一〇三 小錦和泉屋本店 二六〇 鶴仙松吉屋 一〇三 由良之助 永山和平 一〇〇 近盛 馬目合名會社 七一 稻妻 古川傳一 七〇 花の友 山崎元三郎 五一 福美 四家又一 四七 白馬の雪 松本徳一 實業家 二二〇 五 諸橋守次	醫師 九四五 江口忠一 五一五 關内正一 一八五 阿部政右衛門 一四三 金成通 一三五 高橋龜松 一三〇 山崎清三 一二五 小野晋平 一〇一 山崎登 七〇 武田精一 三五 馬目武之助
--	---	--	---

専門内科一般

内科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五
川井内科診療所
電話七二三番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

世は三行の春 花は松ヶ岡

花の松ヶ岡を一眼に見渡す公園向ひ良善寺下(初音、三益)合同賣店を設けました
座席無料 お一人様より百五十人様迄
演舞場 も設けてあります
とくに団体は前日電話にて願ひます
花見折詰洋食日本酒 ユニオンビール、サイドグット **特價**
松ヶ岡公園向良善寺下
初音 電話 二二六
三益 電話 三二二
合同賣店

初夏サロンの新装 四月拾日ヨリ

樽詰生ビール並ニタンク入ソーダ氷の用意が出来ました
ソーダフアンテン設備完成
カップ一杯 十五錢
ジョッキ一杯 五十錢
ドーズ散歩がてらに御来店を
田町松月隣り
美味でさむちよいサロン
評判の
男女給仕入數名募集
電話 三三二番

勸業債券 兩替
復興債券 金融
多田井質店
電話 八六九

高久病院

電話 五二三番
内科、小兒科 醫學士 高久 忠
外科、花柳病科 新潟醫學士 赤羽 清
耳鼻咽喉科 藥劑士 佐竹 菊雄
レントゲン科

花は松ヶ岡
料理はとさきわ
御蔭様で五週年を迎ひ厚く御禮申し上げます
某花満開と共に準備を整ひました
緊縮の意味にて本年は酒類は勿論
御料理總べての賣品を大々的割引
勉強致します相變らず御引立を願ふ
平町松ヶ岡公園
とさきわ
電話 二二六

職工募集
一、家具指物職人 五名
但し相當經驗ヲ有シ永勤出來得ル者詳細面談ス
平町三丁目
丸ほん家具店
電話 三五九番

耳鼻咽喉科 専門
氣管食道科 専門
平町南町
大和田醫院
電話 一七〇番
入院隨意 (自炊の便あり)